

ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ : <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーコール

0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前9:00~午後5:30)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用
はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 3P7

1 609 92A 3P7 (2019.05)

コードレスセーバーソー GSA 18V-32N 型 GSA 18V-32NH 型 (本体のみ)



取扱説明書

このたびは、弊社コードレスセーバーソーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカatalog請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



目次

●安全上のご注意	
警告表示の区分	2
コードレス工具全般についての注意事項	2
コードレスセーバーソーについての注意事項	9
充電器についての注意事項	15
●リサイクルのために	
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください	18
コードレス工具（本体）の廃棄について	18
●本製品について	
用途	19
各部の名称	19
仕様	20
標準付属品	21
●使い方	
バッテリーを準備する	22
作業前の準備をする	25
作業する	30
ポケット切断をする	35
際切りをする	37
●困ったときは	
故障かな？と思ったら	38
修理を依頼するときは	39
●お手入れと保管	
クリーニング	40
セーバーソーブレードのお手入れ	40
保管	41

ご安全上
注意の

のリサイ
クルに

つ本製
い品
てに

使
い
方




困
った
とき
は

保
お
手
入
れ
と
管
と

安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  危険、 警告、 注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。




- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具全般についての注意事項

ここでは、コードレス工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいたコードレスセーバーソーには、当てはまらない項目も含まれています。

1. 専用のバッテリー以外を使用しないでください。

- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
- ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。

工具本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。

2. バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。

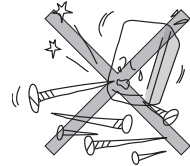


3. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。

4. バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。

5. バッテリーの端子間を短絡させないでください。

- ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。



6. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管しないでください。

発熱・発火・破裂の恐れがあります。

7. 専用の充電器以外では、充電しないでください。

- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。

バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。

8. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。
また、バッテリー内部に水のような導電体を浸入させないでください。

◆ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

 警告

1. 正しく充電してください。

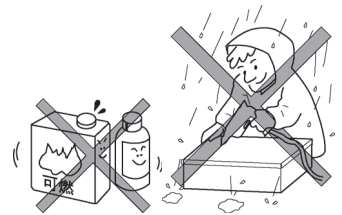
- ◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 温度が 0℃未満、または温度が 45℃以上ではバッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

2. 感電に注意してください。

- ◆ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ コードレス工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。



4. 保護めがねを使用してください。

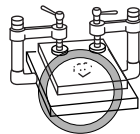
- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

5. 防音保護具を着用してください。

- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

6. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。



7. 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。

- ◆ 使用しない、または修理する場合。
- ◆ 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



8. 不意な始動は避けてください。

- ◆ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ バッテリーを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。

9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◆ この取扱説明書、およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

10. バッテリーの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

11. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

12. ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。

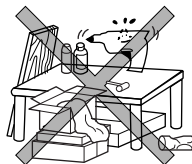
捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

13. 充電電池以外のバッテリー（マンガン乾電池等）は、充電しないでください。

⚠ 注意

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



2. 子供や補助を必要とする人、および本機の操作に知識のない人には、絶対に使用させないでください。

子供や知識のない人が使用すると、事故の原因になります。

◆ この機械で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。

3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。

◆ コードレス工具やバッテリーを、温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。

4. 無理して使用しないでください。

◆ 安全に能率よく作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。

◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

5. 作業に合ったコードレス工具を使用してください。

◆ 小型のコードレス工具やアタッチメントは、大型のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。

◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

6. きちんとした服装で作業してください。

◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。

◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。

◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

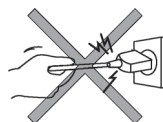


7. コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。



9. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。



10. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

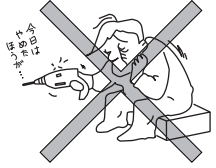
- ◆ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外されていることを確認してください。

11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ◆ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

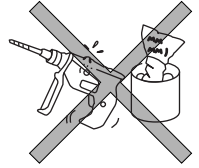
12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ コードレス工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。



13. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。
- ◆ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ スイッチで始動、および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。



14. コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ サービスマン以外の方はコードレス工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ コードレス工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

コードレス工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、コードレスセーバーソーをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

警告

1. 作業の条件・内容を考慮して、目的に合った電動工具を用意し、アクセサリーを選定してください。
 - ◆ 目的に合っていない電動工具の使用は、事故やけがの原因となります。
2. 取扱説明書に記載されている用途、または能力以上の作業に使用しないでください。
 - ◆ 発煙・発火、また思わぬ事故の原因になります。
3. 使用するバッテリーは、取扱説明書に指定してあるものを装着してください。
 - ◆ 指定外のバッテリーを装着すると、電動工具本体に支障をきたすばかりでなく、発煙・発火の原因になります。
4. この取扱説明書、およびボッシュカタログに記載されているアクセサリー以外は使用しないでください。
 - ◆ 指定されたアクセサリー以外は、取り付けられたとしても安全に作業できない恐れがあります。
5. 作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。
 - ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。水配管の貫通は、器物破損の原因になります。

6. 作業開始前に、取り付けは間違いないか、各 부품の損傷はないかなど、電動工具の使用に問題がないことを確認してください。損傷などあれば、使用せずに修理をご依頼ください。

◆ 多くの事故は、点検作業を怠ったときに起きています。

7. 作業時は、保護面や保護めがねを着用してください。状況に応じて、防じんマスク、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、防音保護具（耳栓など）などの防護用具を着用してください。

◆ めがねを着用しないと、材料の破片が目に入って失明したりする恐れがあります。

◆ 防じんマスクをしないと、粉じんを吸入してじん肺などの原因になる恐れがあります。

◆ 騒音は、難聴の原因となります。

◆ 防護用具を使用することで、けがの防止につながります。

8. 調整を行う場合やアクセサリーの交換を行う場合、あるいは工具を保管する場合は、バッテリーを取り外してください。

◆ このような事前の安全対策は電動工具が不意に始動する危険性を低減します。

9. 雨中での作業は行わないでください。また、電動工具を雨ざらしにしたり、ぬれた場所に置いたりしないでください。

◆ 電動工具本体に水が入ると感電や短絡の恐れがあります。

◆ バッテリーが発煙・発火・破裂する恐れがあります。

10. 作業中は、できるだけ換気を良くしてください。

◆ 作業中に発生する粉じんは健康を害します。

11. 作業中は、関係者以外の人や子供を近づけないでください。

◆ 気が散ると、事故やけがの原因になります。

12. 意図せず作動開始しないよう、気をつけてください。必ずスイッチがロックされていることを確かめた上で、バッテリーを取り付けたり、工具を持ち上げたり、移動したりしてください。
 - ◆ スイッチがロックされていない状態で、スイッチ部分に指が触れたり、バッテリーを取り付けたりすると事故の原因になります。
13. 作業中に振り回されないよう、電動工具本体を確実に保持し作業してください。
 - ◆ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
14. 作業中は、先端工具や切り粉などの排出部に、手や顔などを近づけないでください。
 - ◆ けがの原因になります。
15. フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、電動工具本体が冷めるための時間を設けてください。
 - ◆ 複数個連続使用しますと、電動工具本体に支障をきたすばかりでなく電動工具本体の温度が上昇し、低温やけどをする恐れがあります。
16. 作業中に電動工具本体の調子が悪くなったり、異常音がしたときは、直ちに「電子無段変速スイッチ」を切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検、修理を依頼してください。
 - ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。
17. 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、先端工具や電動工具本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。
18. バッテリーを乱暴に扱うと液漏れが発生する場合があります。その場合、直接手で触れないでください。誤って触れた場合は水で十分洗い流してください。バッテリーの液が目に入った場合は、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。
 - ◆ バッテリーから漏れた液は炎症ややけどをもたらす恐れがあります。

19. 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。バッテリーから蒸気が発生する場合があります。蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医師の診断を受けてください。

◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。



注意

1. アクセサリーを交換したり、調整したりしたときは、確実に取り付けられていることを確認してください。

◆ 緩んでいると、予想外の動きをして、電動工具をコントロールできなくなる恐れがあります。

2. 疲労していたり、薬・アルコールを服用していたりするときには、使用しないでください。

◆ 電動工具操作中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。

3. 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鋳物や金属への作業から発生する粉じんは、健康に悪影響を与える恐れがあります。作業者や見学者が粉じんを触ったり吸い込んだりすると、アレルギー反応、あるいは呼吸器感染症を引き起こす可能性があります。

特に樫材やブナ材から出る粉じん、木材処理添加物（クロム酸、防腐剤）は発がん性があると考えられています。

アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。

- ・ できる限り、材料に合った吸じん装置を使用してください。
 - ・ 作業場所の換気に注意してください。
 - ・ D S 2 クラス以上のフィルター付き防じんマスクの着用をお勧めします。
- ◆ 作業場で粉じんの堆積は避けてください。容易に発火する恐れがあります。

4. 曲がったり、磨耗したりしたセーバーソーブレードは使用しないでください。
 - ◆ セーバーソーブレードが破損したり、キックバックが発生したりする危険があります。
5. セーバーソーブレードは手入れをし、鋭利さを保ってください。
 - ◆ 刃先が鋭利ならストレスなく、電動工具がコントロールできます。
6. 電線が通っているような場所で作業するときは、必ずハンドルの絶縁されたグリップ面で電動工具を保持してください。
 - ◆ セーバーソーブレードが通電している電線に接触して電動工具の金属に電気が流れると、感電する恐れがあります。
7. 電源を“入”にしてからセーバーソーブレードを材料に当ててください。
 - ◆ 材料に当ててから電源を“入”にすると、キックバックの危険があります。
8. 作業中は常にベースプレートを材料に押し当ててください。
 - ◆ 押し当てていないと、セーバーソーブレードがかみ込み、電動工具のコントロールを失う恐れがあります。
9. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - ◆ 材料や電動工具本体などを落としたとき、事故の原因になります。
10. 作業が終わったらスイッチを切り、鋸刃が完全に停止するまで待ってから電動工具本体を材料から離してください。
 - ◆ このようにしないと、キックバックが発生する危険があります。
11. 電源を“入”にしたまま、電動工具を持ち運ばないでください。
 - ◆ 作動しているセーバーソーブレードが思いがけず身体に当たると、衣服に引っ掛かり、身体が引き込まれる恐れがあります。
12. スwitchを切った後、セーバーソーブレードの側面を押さえて止めないでください。
 - ◆ セーバーソーブレードが破損・破断したり、キックバックが発生したりする危険があります。

13. 完全に停止してから、台や床などに置いてください。
 - ◆ 完全に停止してから置かないと、電動工具の制御を失い、事故の原因になります。
14. 作業直後のセーバーソーブレードや切り粉などは、高温になっていますので触れないでください。
 - ◆ やけどの原因になります。
15. 使用しないときは、乾燥した、子供の手の届かない、鍵のかかる安全な場所に保管してください。
また、電動工具の取り扱いや手順に不慣れな人には操作させないでください。
 - ◆ 教育を受けていない人の操作は大変危険です。誤って使用すると、事故やけがの原因となります。
16. バッテリーは、釘やドライバーなど、尖ったものや外からの強い力で傷つく場合があります。
 - ◆ 内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。
17. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所や水気・湿気のある場所の近くに置かないでください。
 - ◆ 発熱・発火・破裂の恐れがあります。
18. セーバーソーブレードやセーバーソーブレード取り付け部の切り粉などを、拭き取ってください。
 - ◆ 切り粉などが付着していると、セーバーソーブレードが外れたりして、けがの原因になります。

ここでは、充電器をお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

警 告

1. 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機、変圧器では、使用しないでください。
2. 電源プラグに合った電源コンセントを使用してください。電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。アース回路付き充電器の電源プラグには、いかなるアダプターも取り付けしないでください。
 - ◆ 純正電源プラグに適合した電源コンセントを使用しないと、感電の恐れがあります。
3. 子供や補助を必要とする人、および充電器の操作に知識のない人には、絶対に充電器を使用させないでください。
 - ◆ 子供や知識のない人が使用すると、事故の原因になります。
 - ◆ 充電器で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
4. パイプ、ラジエーター、レンジ、冷蔵庫など、接地処理された媒体と身体が接触するのを避けてください。
 - ◆ 身体が接触すると、感電する恐れがあります。
5. 充電器は雨や湿気の多い場所に置かないでください。
 - ◆ 充電器に水が浸入すると、感電の危険が増します。
6. 電源コードは乱暴に扱わないでください。コードを使って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。また、コードを熱、油、角のとがった場所、また可動部に近づけないでください。
 - ◆ コードが損傷したりもつれたりしていると、感電の恐れがあります。

7. やむを得ず、湿気の多い場所で充電器を使用する場合は、漏電遮断器（RCD）を設置して給電してください。
 - ◆ 漏電遮断器の設置で、感電する危険が低減されます。
8. 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。
9. 使用する前に、充電器本体、ケーブル、および電源プラグに問題がないか確認してください。損傷などがあるときは、使用せずにお買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
 - ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。
10. 充電器のバッテリー挿入部分には充電用端子があります。水や金属片などの異物を入れないでください。
11. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ◆ 爆発や火災の恐れがあります。
12. 紙類や布類、畳、カーペット、ビニールなど（可燃物）の上や周辺、綿ぼこりなどほこりの多い場所では充電しないでください。
 - ◆ 充電中の熱で発火する恐れがあります。
13. すべての充電手順を守ってください。指示に従って指定された温度範囲で充電してください。不適切に充電したり、指定された範囲外の温度で充電すると、バッテリーが破損し、火災の危険性が高まります。
14. ボッシュリチウムイオンバッテリーのみを充電してください。バッテリーの電圧は充電器のバッテリー充電電圧と一致する必要があります。
 - ◆ 一致していないと、火災や爆発の危険があります。

15. バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
 - ◆ 充電器を覆うとモーターが過熱して、正しく動作しなくなる恐れがあります。
16. 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグを電源コンセントから抜き、充電を中止してください。
 - ◆ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
17. 感電に注意してください。
 - ◆ めれた手で電源プラグに触れないでください。
18. 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
19. 充電器は清潔に保ってください。
 - ◆ 汚れると、感電する恐れがあります。
20. 定期的に、柔らかくて清潔で乾燥したブラシを使用して、充電器の通気口を清掃してください。
 - ◆ 通気口にほこりなどが蓄積されると、故障や事故の原因になります。

リサイクルのために

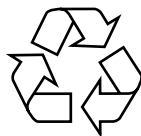
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

のリ
サイ
クル
に
た
め
に

ボッシュは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みコードレス工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ボッシュ電動工具取扱店、ボッシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



Li-ion

本製品は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、コードレス工具本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出してください。

コードレス工具（本体）の廃棄について

バッテリー以外のコードレス工具本体および付属品（充電器など）の廃棄については、各地域自治体にその方法を確認し、正しく廃棄してください。

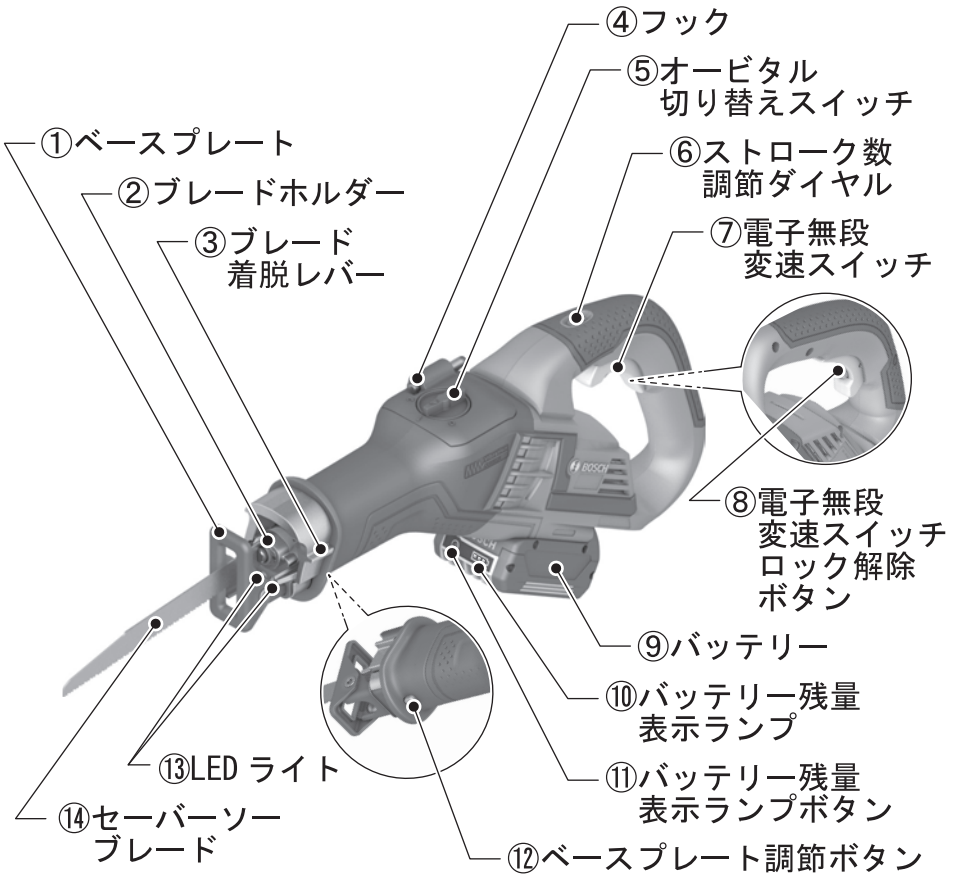
本製品について

用途

◆ 木材、プラスチック、金属、建材の切断

☞ LED ライト⑬の灯りは、作業を行う個所を照らすもので、家庭用の部屋の照明には適しません。

各部の名称



つ本
製
い
品
てに

◆ 作業中は、フック④を必ず折りたたんでください。

◆ イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕 様

本 体

品 番	GSA18V-32N / GSA18V-32NH
定格電圧	DC18V
無負荷ストローク数	0~2500min ⁻¹ (回/分)
ストローク幅	32mm
最大切断能力	
木 材	230mm
パイプ	175mm
軟鋼材	20mm
充電可能周囲温度範囲	0℃~+45℃
使用可能周囲温度範囲*1	-20℃~+50℃
保管可能周囲温度範囲	-20℃~+50℃
寸 法	
バッテリーなし	幅 101×高さ 198×長さ 482mm
バッテリー付き	幅 101×高さ 218×長さ 482mm
質 量	4.2kg (6.3Ah バッテリー含む) (EPTA プロシージャ 01/2014 に準拠)
振動3軸合成値	
木工切断	13m/s ² (EN60745 規格に基づき測定)
原産国	ハンガリー

*1 0℃以下の環境では、設計上の十分な能力を発揮できないことがあります。

リチウムイオンバッテリー

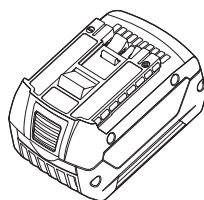
電 圧	18V
容 量	8.0Ah

本
製
品
に

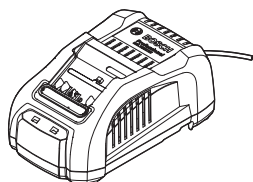
標準付属品



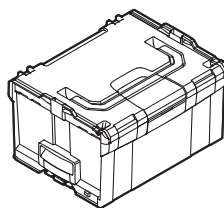
セーバーソーブレード
S1110VF (1本)



リチウムイオンバッテリー
8.0Ah (1個)
GSA18V-32Nのみ*2



充電器
(GAL1880CV)
GSA18V-32Nのみ*2



キャリングケース
L-BOXX238
GSA18V-32Nのみ*2


つ本
製
い
品
て
に

*2 GSA18V-32NHには付属していません。

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

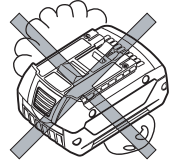
使い方

バッテリーを準備する

-  **警告** ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「電子無段変速スイッチ⑦」がロックされていることを確認してください。

● バッテリーを点検する


- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか？
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか？



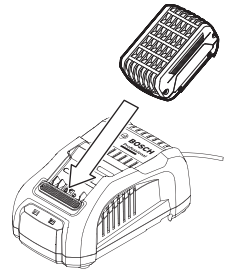
使
い
方

● バッテリーを充電する

充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

-  **警告** ◆ 破損防止のため、弊社指定の充電器を使って、バッテリー⑨を充電してください。
- ◆ バッテリー⑨が熱くなっているときは、冷ましてから充電してください。
 - ◆ エンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
2. 充電器にバッテリー⑨を差し込みます。
充電が始まります。
(『充電器の取扱説明書』参照)



3. 充電が終わったら、バッテリー⑨を充電器から抜きます。

4. 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜きます。

- ☞ 新品のバッテリー⑨や長期間使用していなかったバッテリー⑨は、バッテリー本来の能力を発揮させるために、1時間程充電してから使用してください。
- ☞ 正しく充電しても使用能力が著しく低下するようになった場合は、バッテリー⑨の寿命が尽きたと考えられます。
新しいバッテリー⑨と交換してください。


バッテリー残量表示

バッテリー⑨の充電状態をバッテリー残量表示ランプ⑩で確認することができます。

「バッテリー残量表示ランプボタン⑪」を押すと、バッテリー残量表示ランプ⑩が点灯します。

バッテリー残量表示ランプ	バッテリー残量
3つ点灯	2/3 以上
2つ点灯	1/3 以上
1つ点灯	1/3 未満
1つ点滅	要充電


- ☞ 「バッテリー残量表示ランプボタン⑪」を押しても、バッテリー残量表示ランプ⑩が1つも点灯・点滅しないときは、バッテリー⑨が損傷しています。
バッテリー⑨を交換してください。
- ☞ 充電状態は、バッテリー⑨を取り外していても確認できます。

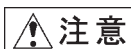
 **注意** ◆ バッテリー⑨の充電状態を確認するときは、必ずセーバーソー本体の作動を停止させてください。
セーバーソーブレードを作動させたまま確認すると、けがの原因になります。

● バッテリーを取り付ける・取り外す

取り付け

バッテリー⑨を、本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”“カチッ”と2回音がするまで押し込みます。

 本機は、「バッテリー取り外しボタン」が押されただけではバッテリー⑨が外れないよう、バッテリー⑨の取り付けが二重ロックになっています。



注意

◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

取り外し

「バッテリー取り外しボタン」を押しながら、バッテリー⑨を引き抜きます。

バッテリー
取り外しボタン

押す

引き抜く



作業前の準備をする



警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、作業前の準備をするときは、バッテリー⑨をセーバーソー本体から取り外してください。

● セーバーソーブレードを選ぶ

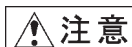
材料の材質と厚みに合ったセーバーソーブレード⑭を選んでください。
きつい曲線を切断する場合は、曲線切断用のセーバーソーブレード⑭を使用してください。

木材・プラスチックの切断 木工用のセーバーソーブレード
金属などの切断 金工用のセーバーソーブレード

- ☞ 切断しようとする材料より必要以上に長いセーバーソーブレード⑭を使用しないでください。
- ☞ 切削オイルスプレー（ポッシュ純正品 品番 2 607 001 409）などを使用すると、セーバーソーブレード⑭が長持ちします。

使
い
方

● セーバーソーブレードを取り付ける・取り外す



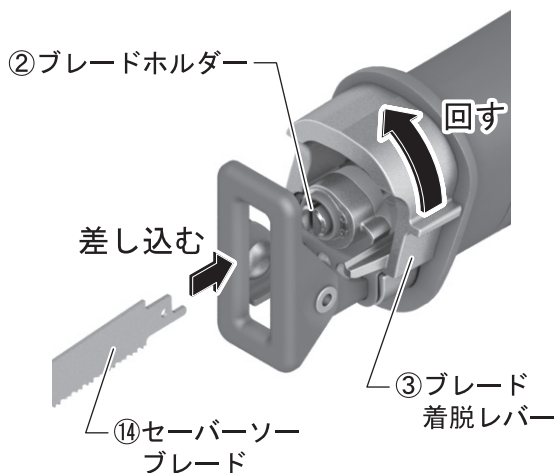
注意

- ◆ 作業直後のセーバーソーブレード⑭は高温になります。冷たくなってから、セーバーソーブレード⑭を取り外してください。
- ◆ セーバーソーブレード⑭は刃先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用して扱ってください。

セーバーソーブレードの点検

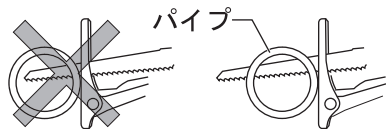
- セーバーソーブレードは短すぎないか？
- セーバーソーブレードは曲がっていないか？
- セーバーソーブレードの刃先が欠けていたり、摩耗したりしていないか？

取り付け



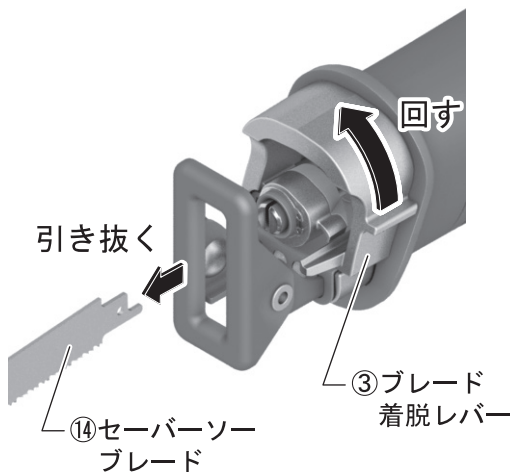
1. ブレードホルダー②にゴミやホコリが付着していないか確認します。付着しているときは、清掃してください。
2. ブレード着脱レバー③を矢印の方向に約 60° 回転させ、保持します。
3. セーバーソーブレード⑭を奥まで差し込みます。
4. ブレード着脱レバー③を離します。
ブレード着脱レバー③を離すと、セーバーソーブレード⑭が固定されます。
5. セーバーソーブレード⑭を手で引っ張り、確実に取り付けられていることを確認します。

- ☞ セーバーソーブレード⑭は、刃を上下どちらの方向にしても取り付けられます。
- ☞ ベースプレート①や切断材料（特にパイプ）より刃が先に出ない短いセーバーソーブレード⑭や、曲がったセーバーソーブレード⑭は使用しないでください。短すぎたり、曲がったセーバーソーブレード⑭は、セーバーソーブレード⑭の先端がベースプレート①や切断材料に引っかかり、刃が折れる場合があります。



材料よりセーバーソーブレードが前方に出ている

取り外し



使
い
方

1. ブレード着脱レバー③を矢印の方向に 60° 回転させ、保持します。
2. セーバーソーブレード⑭を引き抜きます。
3. ブレード着脱レバー③を離します。

● ベースプレートの角度を調節する

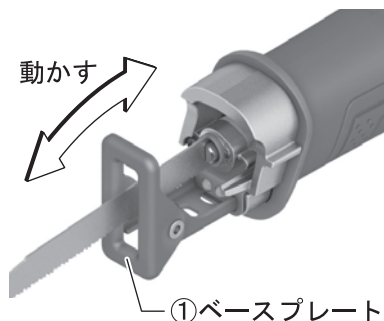


警告

- ◆ けがの発生を防ぐため、ベースプレート①の角度を調節するときは、バッテリー⑨をセーバーソー本体から取り外してください。

本体をしっかりと保持し、ベースプレート①を傾けて角度を調節します。ベースプレート①は、ベースプレート①が切断材料の表面と接するように調節してください。

- ☞ ベースプレート①は、角度を固定できません。

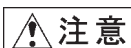
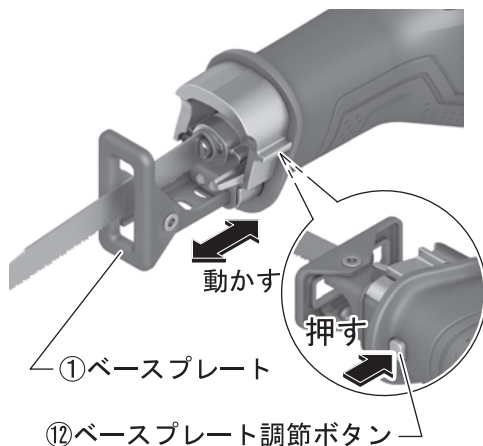


使
い
方

● ベースプレートの位置を調節する

「ベースプレート調節ボタン⑫」を押しながら、ベースプレート①を前後に動かし、作業に適した位置に調節します。ベースプレート①は、3段階で調節できます。

- ☞ 確実に固定できる位置で、調節してください。



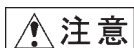
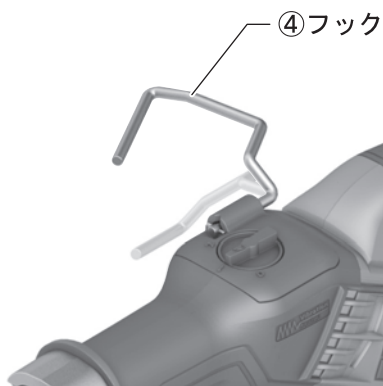
注意

- ◆ 作業中は「ベースプレート調節ボタン⑫」を押さないでください。電動工具のコントロールを失い、けがをする恐れがあります。

- ☞ 清掃などの際、ベースプレート①は取り外すことができます。清掃後は、必ずベースプレート①を取り付けてください。ベースプレート①は、本体側に押し込むと取り付けられます。

● フックを使用する

フックを使用すると、はしごなどにセーバーソー本体を吊るすことができます。使用するときには、フック④を開いてください。



注意

- ◆ セーバーソー本体を吊るすときは、誤ってセーバーソーブレード⑭に触れないように注意してください。けがの原因になります。
- ◆ 作業するときには、必ずフック④を折りたたんでください。

使
い
方

作業する



警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリーを取り付ける前に、「電子無段変速スイッチ⑦」がロックされていることを確認してください。



注意

- ◆ 作業を始める前に、材料に釘やネジなどが入っていないか確認してください。
入っている場合は、必要に応じて取り除いてください。

1 セーバーソーブレード⑭を点検する

- セーバーソーブレードが曲がっていないか？
- セーバーソーブレードの歯先が欠けていたり、摩耗したりしていないか？
- セーバーソーブレードは、材料の径より長い？

使 い 方

2 「オービタル切り替えスイッチ⑤」を切り替える

切断内容や材質に合わせて、「オービタル切り替えスイッチ⑤」を切り替えてください。

- ☞ 試し切断をして、最適なオービタル動作を決めてください。
- ☞ 「オービタル切り替えスイッチ⑤」の切り換えは、切断中でもできます。



オービタル動作：なし（レベル0）

- ・薄い、または硬い鋼板や鋼材などを切断するとき
- ・きれいな切断面にするとき

オービタル動作：レベル1

- ・非鉄材、堅木、プラスチック、中密度の材料を切断するとき

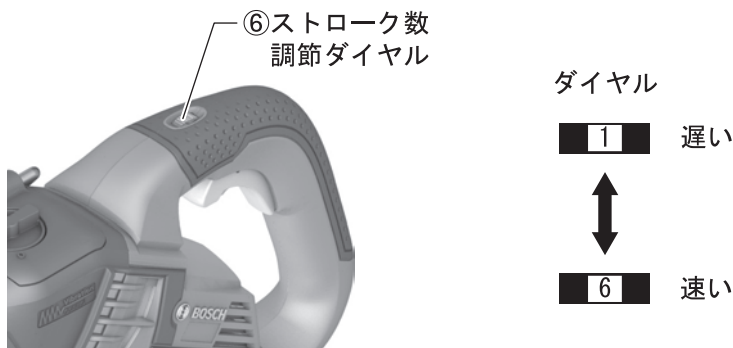
オービタル動作：レベル2

- ・非鉄材、堅木、プラスチック、中密度の材料を切断するとき
- ・柔らかい建材、絶縁材、軟木、樹木などの柔らかい材料を切断するとき

3 ストローク数調節ダイヤル⑥でストローク数を調節する

最適なストローク数は、材料やセーバーソーブレード⑭により異なります。材料や作業に応じて、ストローク数を調節してください。


ダイヤルを数字の大きい方へ回すと速くなり、数字の小さい方へ回すと遅くなります。(ダイヤル 1～6 で調整可能)




- ☞ 試し作業をして、最適な速度を設定してください。
- ☞ プラスチックやアルミニウムなどを切断する場合は、ストローク数を低めに設定し、焼きつきを防止してください。
- ☞ 低いストローク数で長い時間作業すると、セーバーソー本体が熱くなります。熱くなったときは、セーバーソーブレード⑭を本体から取り外し、最高速で3分間ほど空転（無負荷運転）させて、モーターを冷やしてください。
- ☞ 「電子無段変速スイッチ⑦」を引き込む加減でもストローク数は調節できますが、ストローク数調節ダイヤル⑥でストローク数を調節すると、おらのない作業性能が得られます。
- ☞ ストローク数の調節は、切断中でもできます。


4 セーバーソー本体にバッテリー⑨を取り付ける

バッテリー⑨を、セーバーソー本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”カチッ”と2回音がするまで押し込みます。

 本機は、「バッテリー取り外しボタン」が押されただけではバッテリー⑨が外れないよう、バッテリー⑨の取り付けが二重ロックになっています。

 **注意** ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

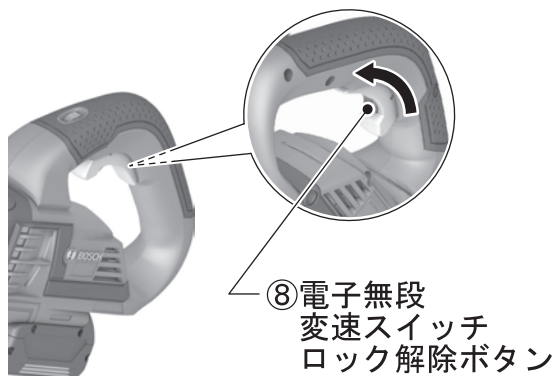
バッテリー⑨の充電状態をバッテリー残量表示ランプ⑩で、確認することができます。(22 ページ「バッテリーを充電する」参照)

 **注意** ◆ バッテリー⑨の充電状態を確認するときは、必ずセーバーソー本体の作動を停止させてください。
セーバーソーブレード⑭を作動させたまま確認すると、けがの原因になります。

使
い
方

5 「電子無段変速スイッチ⑦」のロックを解除する

「電子無段変速スイッチロック解除ボタン⑧」を矢印の方向にスライドさせます。



6 「電子無段変速スイッチ⑦」を操作する

「電子無段変速スイッチ⑦」を引き込みます。

ストローク数（回転スピード）の調節

「電子無段変速スイッチ⑦」を引き込む加減で、ストローク数（回転スピード）が調節できます。

ストローク数を調節することにより、材料に、より適した切断が可能になります。

軽く引く・・・低ストローク数

強く引く・・・高ストローク数

本機には、電子セル保護システム（ECP 機能）がついております。

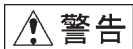
本体が過負荷になった場合やバッテリーが過放電または作業可能温度外になった場合には、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。

上記の状態が解消されると、再始動することができます。

本体が停止している状態で「電子無段変速スイッチ⑦」を“入”にし続けると、故障の原因になります。

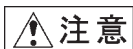
使
い
方

7 切断する



警告

◆ 作業中は、セーバーソー本体を確実に保持してください。







注意

◆ 作業時、セーバーソー本体は軽く押すだけで十分です。
必要以上に強く押しつけると、セーバーソーブレード⑭を傷めて作業効率がさがったり、本体が故障したりします。

「電子無段変速スイッチ⑦」を“入”にして、回転が十分に上がってから切断を始めてください。




切り始めは、セーバーソーブレード⑭をゆっくり材料に押しつけてください。

-  作業中は、ベースプレート①を材料にしっかり押しつけてください。
-  適切な切断スピードで作業してください。
-  金属を切断する場合、切削オイルスプレー（ボッシュ純正 品番 2 607 001 409）を使用すると、スムーズで早い切断作業ができるとともに、セーバーソーブレード⑭の寿命が延びます。
-  低ストローク数で長時間切断作業すると、セーバーソー本体が高温になります。本体が高温になったときは、最高ストローク数で約3分間無負荷回転させ、機体を冷ましてください。

8 切断を終了する

「電子無段変速スイッチ⑦」から指を離します。

「電子無段変速スイッチ⑦」から指を離すと、「電子無段変速スイッチロック解除ボタン⑧」が元の位置（ロックの位置）に戻ります。

-  セーバーソーブレード⑭の動きが完全に止まるまで、本体を床やテーブルなどに置かないでください。
-  「電子無段変速スイッチ⑦」を切ったあと、セーバーソーブレード⑭の動きを無理に止めるようなことはしないでください。
また、手で押さえるようなことは絶対にしないでください。
-  使用しないときは、必ず「電子無段変速スイッチ⑦」をロックしてください。

ポケット切断をする

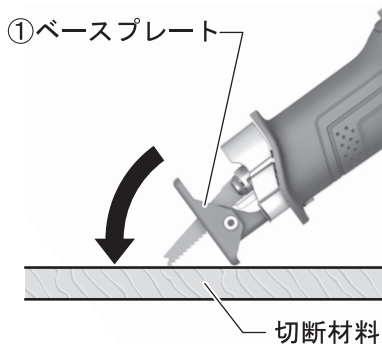


- ◆ ポケット切断をするときは、「切断する」の警告・注意文および操作方法をよく読み、内容を理解してから作業を行ってください。

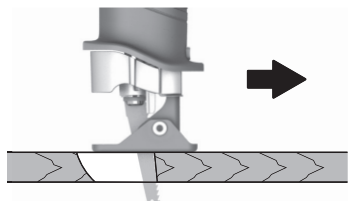
- ☞ ポケット切断は、木材など軟らかい材料の中抜きができます。
- ☞ 分厚い材料や金属のような硬い材料では、ポケット切断を行わないでください。このような材料は、材料の端から切断するか、セーバーソーブレード⑭に合った大きさの貫通穴から切断を始めてください。
- ☞ ポケット切断は、長さが 100mm 以下の短いセーバーソーブレード⑭を使用してください。
長いセーバーソーブレード⑭を使用すると、ベースプレート①が材料に当たらず、セーバーソー本体をしっかりと保持できません。

1. 切断材料を確実に固定します。
2. セーバーソーブレード⑭が確実に取り付けられているか確認します。
3. 切断線の上にセーバーソーブレード⑭の先端がくるように、ベースプレート①の後端部を切断材料に当ててセーバーソー本体を設置します。
4. 「電子無段変速スイッチロック解除ボタン⑧」を前方にスライドさせ、ロックを解除します。
5. 「電子無段変速スイッチ⑦」をいっぱいまで引き込みます。
6. セーバーソー本体を確実に保持し、ベースプレート①の後端部を支点に、セーバーソーをゆっくりと押し込んでいきます。

- ☞ 支点（ベースプレート①の後端部）が、材料から離れないよう、しっかりと固定してください。
- ☞ 切断を急がず、ゆっくりセーバーソーブレード⑭を押し下げてください。



7. ベースプレート①の全面が切断材料に接したら、切断線に沿って切断を続けます。



8. 切断が終わったら「電子無段変速スイッチ⑦」から指を離し、本体を材料から離します。

際切りをする


柔軟性のあるバイメタルセーバーソーブレードを使用すると、壁面や床面と材料の切断面をそろえることができます。

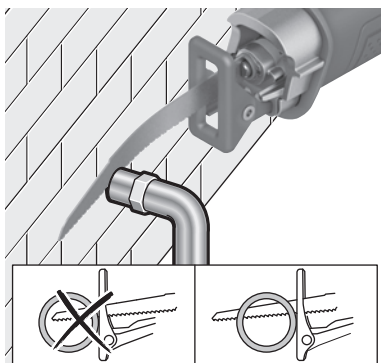


警告

◆ 際切りをするときは、「切断する」の警告・注意文および操作方法をよく読み、内容を理解してから作業を行ってください。

1. セーバーソーブレード⑭が確実に取り付けられているか確認します。
2. セーバーソーブレード⑭の側面を壁面に当て、ベースプレート①を壁面に向けるようにしてセーバーソーブレード⑭が壁面と平行になるようにしなさせます。
3. 「電子無段変速スイッチロック解除ボタン⑧」を前方にスライドさせ、ロックを解除します。
4. 「電子無段変速スイッチ⑦」をいっぱいまで引き込みます。
5. セーバーソー本体を確実に保持し、セーバーソーブレード⑭をしなさせた状態で材料を切断します。

 セーバーソーブレード⑭の先端が常に切断材料より出るようにしてください。キックバックの危険があります。



6. 切断が終わったら「電子無段変速スイッチ⑦」から指を離します。

使
い
方

困ったときは

故障かな？と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直してください。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

症 状	原 因	対 処
「電子無段変速スイッチ⑦」を引き込んでも、作動しない	バッテリー⑨が消耗している	バッテリー⑨を充電するか、交換する
	バッテリー⑨の温度が最適温度範囲外になっている	バッテリー⑨が最適温度範囲内になるまで待つか、交換する
	本機の温度が作業可能温度範囲外になっている	作業可能温度範囲内になるまで待つ
「電子無段変速スイッチ⑦」が引き込めない	「電子無段変速スイッチロック解除ボタン⑧」がロックの位置になっている	「電子無段変速スイッチロック解除ボタン⑧」を解除の位置にする
切断に時間がかかる（穴があかない）	セーバーソーブレード⑭が摩耗している	セーバーソーブレード⑭を研磨するか、交換する
	バッテリー⑨が消耗している	バッテリー⑨を充電するか、交換する
充電しても、フル充電しない。または、フル充電しても、使用時間が短い	バッテリー⑨の寿命が尽きた	バッテリー⑨を交換する

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーコール 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。

コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813 埼玉県比企郡滑川町月輪 1464 番地 4

TEL 0493-56-5030 FAX 0493-56-5032

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

お手入れと保管




警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー⑨をセーバーソー本体から取り外し、お手入れしてください。


クリーニング

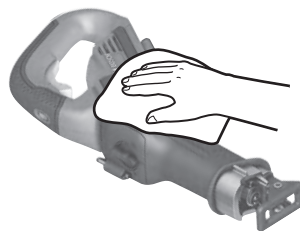
- 通風口やセーバーソーブレード取り付け部などに付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす

 清掃の際、ベースプレート①は取り外すことができます。
(28 ページ「ベースプレートの位置を調節する」参照)

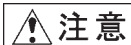
- バッテリー取り外しボタンやバッテリー装着部分に付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす

- 乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。



セーバーソーブレードのお手入れ



注意

- ◆ セーバーソーブレード⑭は、刃先が身体に触れないように注意してください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用してください。

- セーバーソーブレード⑭に付着した切り粉、ホコリを取り除く。

● セーバーソーを使った後は、バッテリー⑨を取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、バッテリーは50℃以上になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼ってください。

